

～まちの話題～

今年も夏休みに中学生・高校生が 職場体験・ボランティア活動

学校の夏休み期間に、阿久比中学校の生徒が職場体験で、阿久比高校の生徒がボランティア活動で町内の各保育園を訪れ、園児たちと笑顔で触れ合いました。

晴れて暑い日に園庭で園児たちと水遊びをして楽しくはしゃいだり、給食を一緒に食べたり、子どもたちが昼寝をしている間に保育士の仕事を手伝ったりして、生徒たちは保育園での忙しい一日を過ごしていました。

一方、町営プールでは阿久比高校水泳部員が、もちの木園の利用者に泳ぎ方の指導を行いました。もちの木園が利用者の体力維持と水に対する恐怖心をなくすことを目的に毎年実施しているもので、利用者は水泳部員の皆さんに手伝ってもらい泳ぎを楽しみました。

部長の平井万葉君は「教えるのは難しかったが、みんなで楽しく泳ぐことができました」と話してくれました。



園児たちと水遊びをする高校生



色紙を切ってメダル作りを手伝う中学生



利用者と一緒にプールを歩く水泳部員

●「虫供養」本番を前に土用干し



念仏を唱和する同行衆

虫供養行事の一環として行われる「土用干し」が7月29日、興昌寺（福住）でありました。当日は厳しい暑さになりましたが、町指定文化財の12幅の掛け軸などが飾られた会場には、先導する導師の声や同行衆の唱和する百万遍念仏が響いていました。

土用干しは、掛け軸や道具などを夏の風に当て、カビや虫の害から守り、痛みを防ぐために行われるものです。冬に行われる「寒干し」とともに、9月の秋分の日にある本番に向けて、当番地区で毎年行われる大切な供養の行事です。

●県大会出場を報告



県大会に出場する阿久比中学校の生徒たち

部活動で県大会に出場する阿久比中学校の生徒たちが7月27日、中央公民館で報告会を行いました。県大会へ出場を決めた野球、陸上、水泳、バドミントン、新体操、女子バスケットボール、吹奏楽の部員たちは、それぞれ出場するチームや個人、団体の種目、競技での目標を町長に話していました。

「阿久比町の代表としてがんばってください」と町長が激励すると、生徒たちは「日ごろの練習の成果を発揮して、悔いのないよう精いっぱい力を出し切りたい」と元気よく健闘を誓っていました。